

「李相日スカラシップ基金」設立について

～PFF プロデュース作品の制作基盤増強に向けて～

この度、PFF 出身の李相日監督の『国宝』の歴史的な大ヒットを受け、その成果を次世代の映画人育成へと循環させるべく、李相日監督の承諾のもと、「李相日スカラシップ基金」を設立することとなりました。

「李相日スカラシップ基金」とは PFF アワード入選者で、PFF プロデュース作品を撮ることになる未来の輝く才能に、その飛躍への期待を込めて授与されるものとして制定されます。権利を獲得した監督が PFF プロデュース作品を制作するにあたり、その製作費の拠出原資となる基金です。

1. 設立の背景

PFF は1977年の設立以来、「映画の新しい才能の発見と育成」を掲げ、李相日監督をはじめとする数多くの才能を輩出してまいりました。中でも「PFF プロデュース(旧称: PFF スカラシップ)」は、1984年(42年前)に、制作予算総額3,000万円を上限として、新人監督の商業映画デビューを支援するシステムとしてスタートしました。近年では約5,000万円の制作予算で運営しておりますが、この40年間の映画製作費の高騰や技術環境の変化に伴い、従来の制作費では十分なクオリティを担保することが極めて困難な状況に直面しております。

2. 「李相日スカラシップ基金」の概要

名 称：李相日スカラシップ基金

管理運営：一般社団法人 PFF

原資協力：ぴあ株式会社、東宝株式会社(本日時点)

基金規模：設立時基金3億円を設定

＊目標額10億円。今後、追加で複数社へ呼びかける予定

資金使途：PFF プロデュース作品の制作費の助成金として拠出

＊今後10年に渡り拠出を想定、作品毎の助成金の金額は都度決定する

<補足資料>

「PFF プロデュース」とは

自主映画の監督がオリジナル長編映画で劇場デビューするチャンスを作るため、「PFF スカラシップ」という名称で1984年にスタート(その後、「PFF プロデュース」と名称を変更)。PFF アワード入選監督に企画提出権が与えられ、後の企画コンペを経て1名の監督を選出。専任プロデューサーと共に企画開発から映画の製作、劇場公開まで時間をかけて取り組む活動です。

「李相日スカラシップ基金」とは

「国宝」で日本映画の興行記録を塗り替えた李相日監督がかつてそうであったように、PFF アワード入選者で、PFF プロデュース作品を撮ることになる、「未来の輝く才能」に期待を込めて授与される制作費の基金です。